

十二日かんの大きくせん

古賀美羽

わたしはおかあさんとおにいちゃん、おとうとの四人でく
らしている。夏休みもおかあさんはしごとでいそがしいので、
わたしはまい日学どうに行く。でも、今年の夏休み水えい教し
つにもうしこんでくれた。そこで近くにすむおばあちゃんの
出ばんだ。水えい教しつの十二日かんプールまでいっしょに
行つて、おわつたら学どうまでおくつてくれることになった。

おばあちゃんの大きくせんは、きんちようで朝五時半に目
がさめるところからはじまる。朝は車が多くて、うんてんがす
ごく大へんそうだったけれど、あんぜんうんでんでがんばつ
てくれた。こういしつまでついで来てくれた。かみをきれいに

ぼう子に入れて、ゴーグルもつけてくれた。あついへやからわ
たしのおよぎをずつと見まもつてくれた。いつもいそがしい
おかあさんにはしてもらえないことばかりをしてもらえて、
わたしはとびきりうれしかった。さらに、おばあちゃんは学ど
うにもつていくおべんとうにもやさしかった。くさらないよ
うにほれいざいをもつて来てくれて、プールのあいだおべん

とうも見まもつてくれた。だからわたしもすこしでもおよげ
るようになろうとがんばった。

一日だけ学どうを休んでおばあちゃんの家でのんびりした。
わたしはテレビを見てゴロゴロしていたが、おばあちゃんは水
ぎとタオルをあらつてほしてくれていた。わたしはハツとし
た。わたしを学どうにおくつたあとも、おばあちゃんは、わた
しのためにあしたのじゅんびをしてくれていたんだ。すずしい
へやで、テレビを見ているだけのわたしは、きゆうにこころが
ザワザワした。

おばあちゃん、知らなかったよ。本当にありがとう。

二学きからの水えいのじゅぎようが今からまちどおしい。
とつてもワクワクする。なぜかというと、クロールとせおよぎ
までおよげるようになったからだ。これも、おばあちゃんとが
んばつた十二日かんの大きくせんのおかげだ。

おばあちゃん、つかれたよね。本当にありがとう。